

産地収益力向上支援事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜産物名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況								具体的な取組内容	事業内容(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	地方農政局長等の意見	
						基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目(目標年)	目標値				達成率
						平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年					
秋田県	大潟村	大潟村有機農業推進協議会	米、大豆、野菜	平成25～26年度	有機農業による農業産出額の増加	1,249,145千円	983,371千円	811,813千円	761,429千円	691,866千円	698,725千円	806,648千円	1,585,558千円	-131.5%	<ul style="list-style-type: none"> 有機農業技術研修会の開催 消費者に向けた普及啓発活動 地域の土壌に適した有機農業技術の実証 販路拡大に向けた商談(都内) 地域イベントへの参加 有機農業実践者向け研修会の開催 		<p>有機農業者数・実施面積ともに減少傾向にある中、本事業により慣行農業から有機農業への転換促進を図り、また消費者交流イベントによる普及啓発活動等の各種取組が行われた結果、慣行農業からの転換者や有機農業の後継者による面積拡大により平成30年度に有機農業作付面積及び算出額が増加に転じた。</p> <p>しかしながら、農業者の高齢化や労働力不足により有機農業者数も減少したことに伴い、有機農業の作付面積や産出量も成果目標を下回る実績となり、目標を達成できなかった。</p> <p>このため、補完労働力や有機農業への転換者の確保、栽培技術の向上を図る取組などがより効果的に行われるよう、成果目標の達成に向けた改善計画の策定を指導する。</p>
					有機農産物の作付け面積の拡大	787.5ha	610.0ha	468.0ha	457.0ha	431.0ha	418.0ha	449.0ha	893.9ha	-318.1%			
山形県	最上町	最上地域有機農業推進協議会	米、野菜	平成25～26年度	有機農業による農業産出額の増加	60,604千円	66,537千円	88,970千円	136,080千円	180,000千円	220,320千円	264,240千円	259,200千円	102.5%	<ul style="list-style-type: none"> シンポジウムの開催 有機農産物栽培技術の実証 土づくり等の講習会の開催 販売促進活動(首都圏等) 有機農産物の成分分析 有機農業人材育成のための講習会の開催 有機認証制度の講習会の開催 		<p>本事業により、3つの成果目標を掲げて産地収益力の向上に取組んだ。</p> <p>1つ目の目標である農業産出額の増加は、有機栽培面積の拡大を図るとともに栽培技術の向上や販路拡大に取組んだ結果、目標金額を超えて達成した。2つ目の水田の労働時間削減は、収穫・除草作業の機械化等を進め、目標である5時間/10aの削減を達成した。3つ目の野菜の共同集荷割合の拡大は、首都圏等への販路拡大に努めながら共同集荷を進めたことで、目標の集荷率70%を達成した。</p> <p>現状分析により地域課題を明確化し、有機農業参入者の人材育成を基本方針とした各種取組を展開したことで、成果目標を達成したことが評価できる。今後、人材育成の継続とさらなる有機栽培面積の拡大に期待したい。</p>
					水田の労働時間の削減	33hr/10a	38hr/10a	34hr/10a	31hr/10a	30hr/10a	29hr/10a	28hr/10a	28hr/10a	100.0%			
					野菜の共同集荷割合の拡大	20%	15%	18%	40%	50%	60%	70.3%	70%	100.6%			
山形県	遊佐町	遊佐町収益力向上協議会	米、エゴマ	平成25～26年度	有機農業による農業産出額の増加	66,500千円	65,880千円	73,883千円	61,820千円	65,994千円	62,443千円	53,526千円	100,000千円	-38.7%	<ul style="list-style-type: none"> 現地研修会の開催 雑草対策技術の実証 除草試作機の実証 販路拡大に向けた消費者学習会の開催 生産者学習会の開催 新規有機栽培農業者のためのDVD作成 消費者への試食やアンケート調査の実施 		<p>本事業により、除草対策に向けた技術実証や有機農業者の確保・育成に向けた各種取組が行われ、エゴマの栽培面積の増加、未利用資源を活用した地産肥料の生産・販売、ふるさと納税返礼品による活用など、一定の効果が得られた。</p> <p>しかしながら、農業者の高齢化や労働力不足を背景に、有機農業者数も減少し、有機米の栽培面積が減少したことに伴い、生産量・産出額とも成果目標を下回る実績となり、目標を達成できなかった。</p> <p>このため、有機米の栽培方法の見直し(栽培管理の省力化)や販売力の強化を図る取組などが効果的に行われるよう、成果目標の達成に向けた改善計画の策定を指導する。</p>
					有機農業による生産量の増加	142.0t	145.0t	160.0t	135.0t	145.0t	133.0t	107.0t	217.0t	-46.7%			

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜産物名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況								具体的な取組内容	事業内容(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	地方農政局長等の意見	
						基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目(目標年)	目標値	達成率				
						平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年						
宮城県	美里町	J.Aみどりの有機農業推進協議会	米	平成26年度	有機農業による農業産出額の増加(有機農産物(米)の販売金額拡大)		92,533千円	82,792千円	54,695千円	70,838千円	96,093千円	86,534千円	106,413千円	-43.2%	<ul style="list-style-type: none"> 有機稲作技術研修会の開催 有機稲作講習会の開催 販路開拓に向けた各種商談会への参加 販路開拓・PR用パンフレットの作成・配布 有機稲作技術研修会の開催 		<p>本事業により、安定供給力の強化に向けた除草管理指導を中心とした研修会の開催や産地販売力を強化するための消費者への有機農産物のPRなど、各種取組が行われた結果、有機米の栽培方法や安全性について販売先の理解が得られ、平成30年度に契約数量拡大につながり一定の効果があつたといえる。しかしながら、農業者の高齢化や労働力不足の影響に伴い、有機農業者数も減少し、生産面積及び生産量も成果目標を下回る実績となり、目標を達成できなかった。</p> <p>このため、販売力の強化や新規農業者の確保につながる取組などが効果的に行われるよう、成果目標の達成に向けた改善計画の策定を指導する。</p>
					有機農業取組者数の増加		28人	29人	27人	28人	23人	23人	40人	-41.7%			
					有機農産物の生産面積の拡大		66.1ha	69.6ha	13.1ha	77.9ha	58.3ha	59.4ha	76.5ha	-64.4%			
					有機農産物の生産量の増加		277.8t	292.4t	55.1t	327.0t	244.0t	249.4t	319.4t	-68.3%			